

11
ダビデ
聖徒伝 95

「永遠の約束に 生かされて」

サムエル記第二 7章

ダビデ契約の締結

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

I. ダビデの心・主の言葉 7章1～11節

II. ダビデ契約 永遠の王家・王国・王座

7章11～17節(歴代誌一17:10～14)

III. ダビデの応答・賛歌 7章18～29節

朗読：詩篇89篇1～37章

IV. まとめと適用

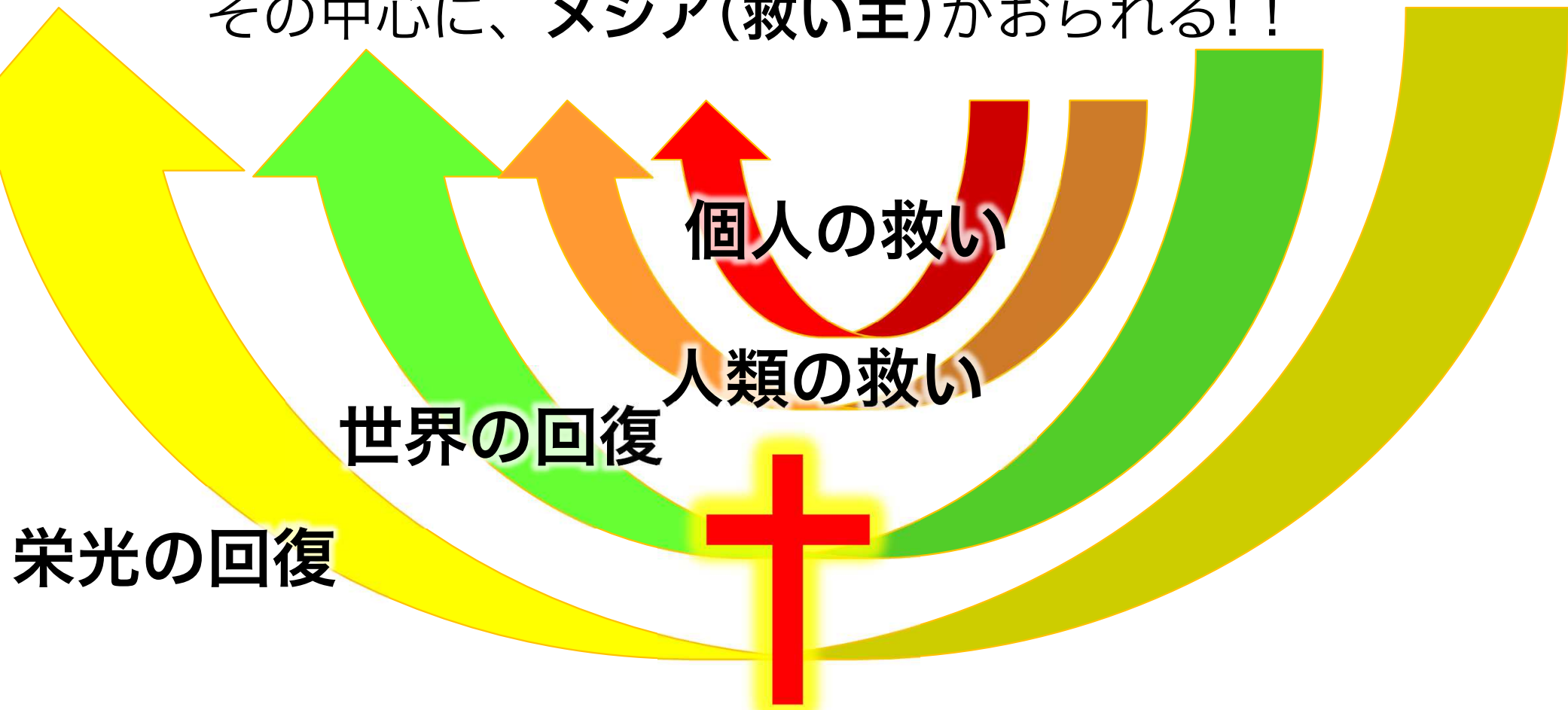
永遠の王・イエスの約束を確認しよう



オリーブ山から見たエルサレム

聖書の最大のテーマは、「神の栄光の回復」

世界に神の栄光が回復される時、すべて回復される。
その中心に、メシア(救い主)がおられる!!

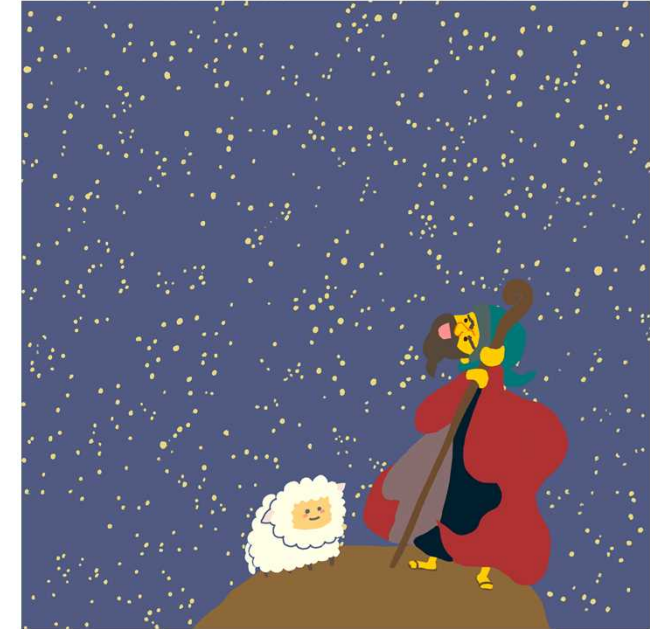




聖書は神の**約束**の書

最初の天地で、
墮罪の後にアダムに、
大洪水の後にノアに、
そして、アブラハムに、

それぞれの時代は、
その時代の神の**約束**の上に
守られ、導かれてきた



神の約束の中心が、「**アブラハム契約**」

神は、

選びに応えたアブラハムを祝福され、

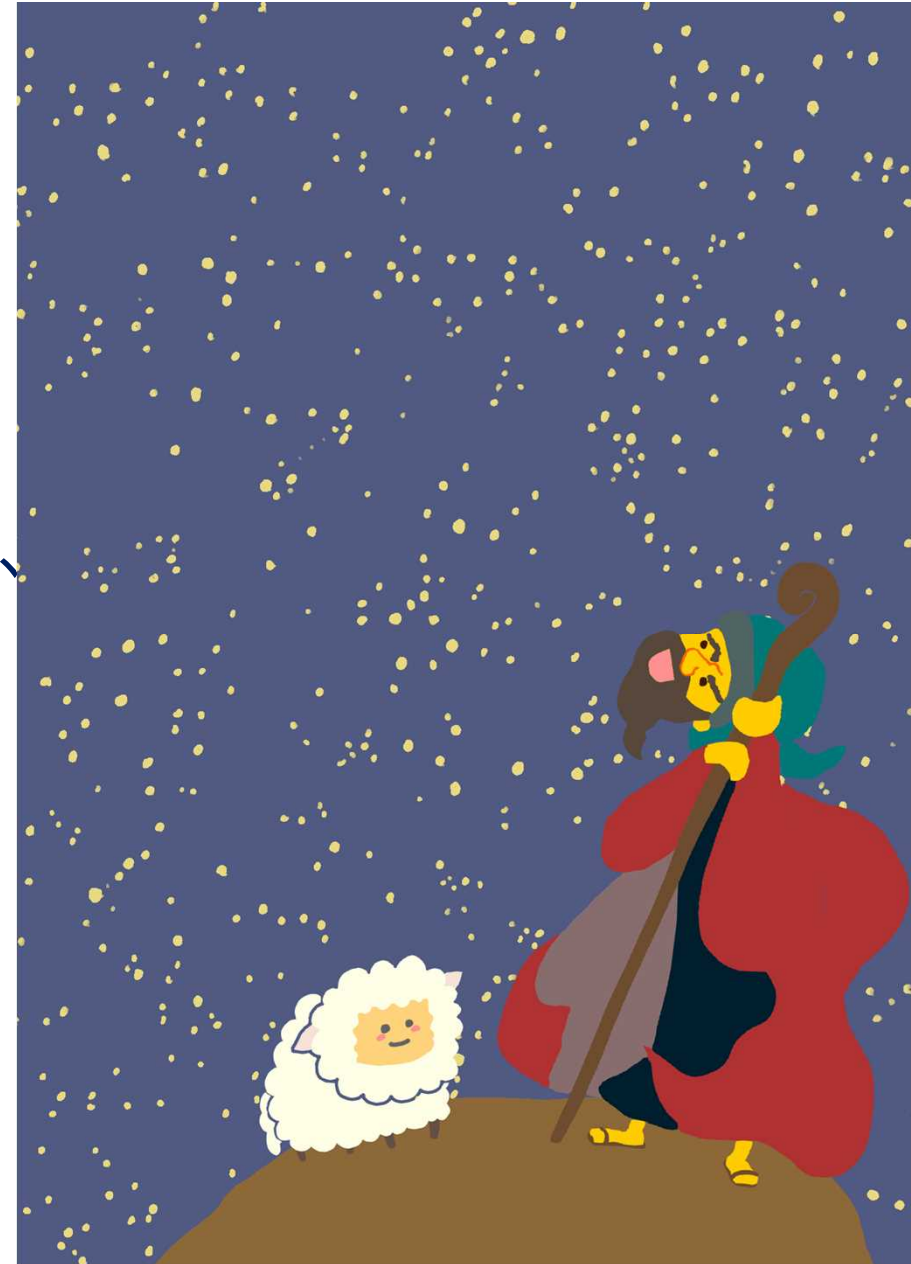
①土地の授与と **②子孫の繁栄**を告げ、

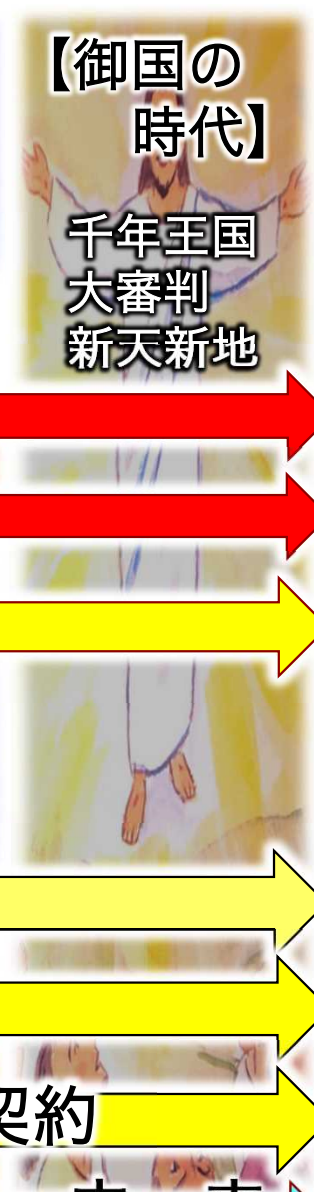
その子孫から、全人類を救いに導く

③メシアが誕生すると約束された。

アブラハム契約は、イサク、ヤコブ、

そして、イスラエルに継承された。





【無垢の時代】

天地創造

【良心の時代】

墮罪
~大洪水

【人類統治の時代】

バベルの塔事件

【約束の時代】

アブラハム
~ヤコブ

【律法の時代】

イスラエル
王国時代
メシア初臨

【恵みの時代】

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

【御国の時代】

千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

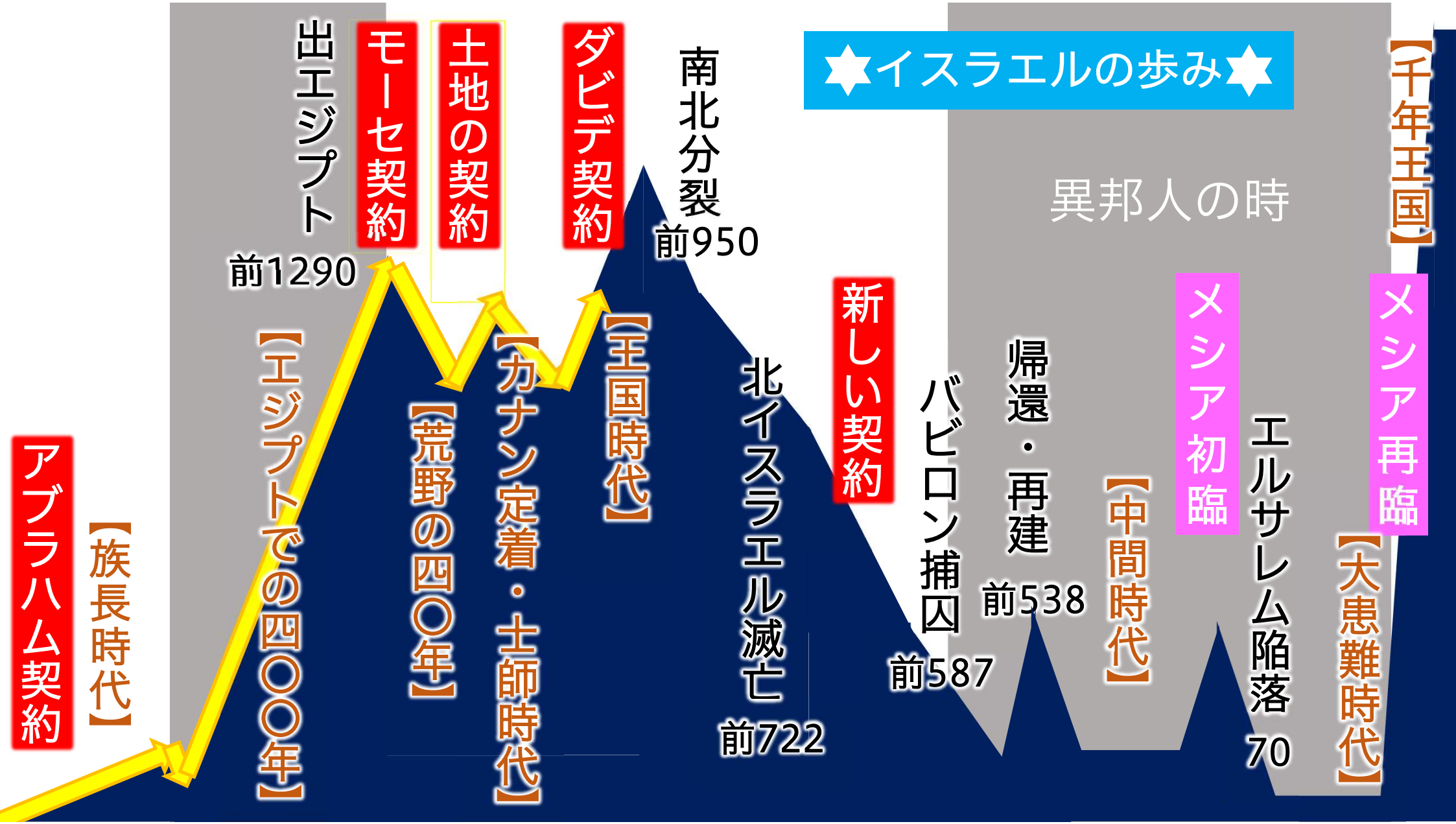
どの時代も
神の約束が礎にある

過去

現在

未来

★イスラエルの歩み★



アブラハム契約

【族長時代】

出エジプト
前1290

モーセ契約

土地の契約

ダビデ契約

南北分裂
前950

【エジプトでの四〇〇年】

【荒野の四〇年】

【カナン定着・士師時代】

【王国時代】

北イスラエル滅亡
前722

新しい契約

バビロン捕囚
前587

帰還・再建
前538

【中間時代】

エルサレム陥落
70

メシア初臨

【大患難時代】

メシア再臨

【千年王国】

異邦人の時

サムエル記 第二

ダビデ王の治世の正と負

ユダの王	1 : 1~27	サウルとヨナタンの死
	2 : 1~4:12	ユダの王に即位
イスラエルの王	5:1~25	エルサレム遷都 全イスラエルの王に
	6:1~25	神の箱が都に上る
	7:1~29	ダビデ契約 の締結
	8:1~9:11	ダビデの治世 勢力の拡大・義と憐れみ
失墜する 王の権威	10:1~12:31	アンモンとの戦い ダビデの過ちと悔い改め
	13:1~14:33	悪化する家族問題
	15:1~18:32	アブサロムの謀反 ダビデの都落ち
	19:1~20:26	ダビデの帰還
追記	21:1~22	サウルの氏族の末路・戦士ダビデの引退
	22:1~51	ダビデの歌
	23:1~39	ダビデの遺言 勇士たちの記録
	24:1~25	人口調査 ダビデの罪と罰

【ダビデの足取り】 サムエル記一11～二6章

- 背いたサウルに代えて、神はダビデに油を注いだ。ダビデはサウルに命を狙われ、逃亡生活が続いた。
- サウルは、ペリシテとの戦いで凄惨な最後を遂げた。ダビデはまず、7年半、ユダ族の王となった。
- イスラエルの将軍アブネルは、ダビデとの和解の最中、ダビデ軍の将軍ヨアブに殺されたが、ダビデは、全部族に認められ、イスラエルの王となった。
- 都となったエルサレムに神の箱が担ぎ上げられた。





I. **ダビデの心・主の言葉** サムエルII 7章1～11節

キデロンの谷とダビデの町

【ダビデの思い】 II サムエル7:1～3

王が自分の家に住んでいたときのことである。【主】は、周囲のすべての敵から彼を守り、安息を与えておられた。

王は預言者ナタンに言った。「見なさい。この私が杉材の家*に住んでいるのに、神の箱は天幕の中に宿っている。」

ナタンは王に言った。「さあ、あなたの心にあることをみな行いなさい。【主】があなたとともにおられるのですから。」

*イスラエルでは最も高級な建材。



【主のことば】 Ⅱサムエル7:4～6

その夜のことである。次のような【主】のことばがナタンにあった。

「行って、わたしのしもべダビデに言え。

『【主】はこう言われる。あなたがわたしのために、わたしの住む家を建てようというのか。

わたしは、エジプトからイスラエルの子らを連れ上った日から今日まで、家に住んだことはなく、天幕、幕屋*にいて、歩んできたのだ。

*律法の定める幕屋に神の栄光が宿った。



【万軍の主の御声】 II サムエル7:7~9

わたしがイスラエルの子らのすべてと歩んだところどこでも、わたしが、わたしの民イスラエルを牧せよと命じたイスラエル部族の一つにでも、「なぜ、あなたがたはわたしのために杉材の家を建てなかったのか」と、一度でも言ったことがあっただろうか。』

今、わたしのしもベダビデにこう言え。『万軍の【主】はこう言われる。わたしはあなたを、羊の群れを追う牧場から取り、わが民イスラエルの君主とした。

そして、あなたがどこに行っても、あなたとともにいて、あなたの前であなたのすべての敵を絶ち滅ぼした。わたしは地の大いなる者たちの名に等しい、大いなる名をあなたに与えてきた。



【主の安息】 II サムエル7:10~11

わが民イスラエルのために、わたしは一つの場所を定め、民を住まわせてきた。それは、民がそこに住み、もはや恐れおののくことのないように、不正な者たちも、初めのころのように、重ねて民を苦しめることのないようにするためであった。

それは、わたしが、わが民イスラエルの上にさばきつかさを任命して以来のことである。こうして、わたしはあなたにすべての敵からの安息を与えたのである。

■ 士師の時代以来、民は確かに約束の地に!!



II. ダビデ契約 永遠の王家・王国・王座

サムエルⅡ 7:11～17
歴代誌Ⅰ 17:10～14



【ダビデの家】 II サムエル7:11～13

【主】 はあなたに告げる。【主】 があなたのために一つの家を造る、と。

あなたの日数が満ち、あなたが先祖とともに眠りにつくとき、わたしは、あなたの身から出る世継ぎの子*をあなたの後に起こし、彼*の王国を確立させる。

彼*はわたしの名のために一つの家*を建て、わたしは彼の王国*の王座*をとこしえまでも堅く立てる。

*ダビデの世継ぎ ➡ ソロモン

*三つの約束 ➡ ダビデの①王家、②王国、③王座



【王家の保証】 II サムエル7:14~15

わたしは彼の父となり、彼はわたしの子となる。彼が不義を行ったときは、わたしは人の杖、人の子のむちをもって彼を懲らしめる。

しかしわたしの恵みは、わたしが、あなたの前から取り除いたサウルからそれを取り去ったように、彼から取り去られることはない。

*ソロモンは晩年、異邦人の多くの妻を通し、偶像礼拝に陥った。

➔にも関わらずダビデの王家は守られる。



【神の約束】 II サムエル7:16~17

あなたの家*とあなたの王国*は、あなたの前にとこしえまでも確かなものとなり、あなたの王座*はとこしえまでも堅く立つ。』」

ナタンはこれらすべてのことばを、この幻のすべてを、そのままダビデに告げた。

*三つの約束が繰り返される

→ ダビデの①王家、②王国、③王座



【ダビデ契約の二つの記述】

■ダビデ契約は、二カ所に記述。

★共通点 →ダビデの王家、王国、王座の永遠の保証。

★相違点 →焦点(ピント)の違い。人の王か。真の王**メシア**か。

①サムエルⅡ7章

→**ソロモン**に焦点。ソロモンの罪と懲らしめも記載。

②歴代誌Ⅰ17章

→来るべき**メシア**に焦点。そのため罪の記載はない。

【ダビデの世継ぎ・ソロモン】 II サムエル7:11

【主】はあなたに告げる。【主】があなたのために一つの家を造る、と。

7:12 あなたの日数が満ち、あなたが先祖とともに眠りにつくとき、わたしは、**あなたの身から出る世継ぎの子**をあなたの後に起こし、彼の王国を確立させる。

7:13 彼はわたしの名のために一つの家を建て、わたしは彼の王国の王座をとこしえまでも堅く立てる。

7:14 わたしは彼の父となり、彼はわたしの子となる。**彼が不義を行ったときは、わたしは人の杖、人の子のむちをもって彼を懲らしめる。**

7:15 しかしわたしの恵みは、わたしが、あなたの前から取り除いたサウルからそれを取り去ったように、彼から取り去られることはない。

7:16 あなたの家とあなたの王国は、あなたの前にとこしえまでも確かなものとなり、あなたの王座はとこしえまでも堅く立つ。』」

【永遠の王・メシア】 歴代誌一

17:10 今、わたしはあなたに告げる。【主】があなたのために一つの家を建てる、と。

17:11 あなたの日数が満ち、あなたが先祖のもとに行くとき、わたしはあなたの息子(たち)の中から、あなたの後に世継ぎの子を起し、彼の王国を確立させる。

17:12 彼はわたしのために一つの家を建て、わたしは彼の王座をとこしえまでも堅く立てる。

17:13 わたしは彼の父となり、彼はわたしの子となる。わたしの恵みを、わたしはあなたより前にいた者から取り去ったが、彼からはそのように取り去ることはしない。

17:14 わたしは、わたしの家とわたしの王国の中に、彼をとこしえまでも立たせる。彼の王座はとこしえまでも堅く立つ。』』

【永遠の真実の王・メシア】 歴代誌一17:11,14

17:11 わたしはあなたの息子(たち)の中から、あなたの後に
世継ぎの子を起こし、彼の王国を確立させる。

➡メシアは、ソロモンの直系ではなく、ナタンの家系(ルカ3:31)。

「ルカ3:31 メレア、➡メンナ、➡マタタ、➡ナタン、➡ダビデ」

※ルカの系譜は、ヨセフの妻マリアから逆に辿る。

17:14 わたしは、わたしの家とわたしの王国の中に、彼をとこしえ
までも立たせる。彼の王座はとこしえまでも堅く立つ。』」

➡メシア個人が、永遠の王となる。

【ダビデの応答に現れた違い】 歴代誌一17:17

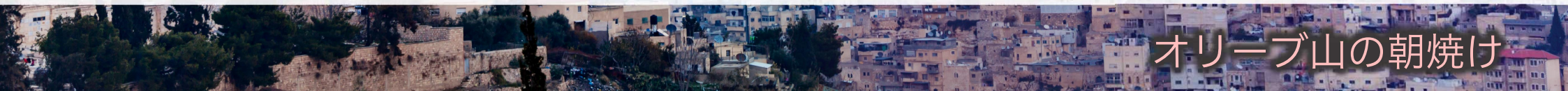
17:17 神よ。このことがあなたの御目には小さなことでしたのに、あなたはこのしもべの家について、はるか先のことまで教えてくださいました。神、【主】よ、あなたは私を**すぐれた者***として見てくださいます。

*子孫に誕生する**メシア**のゆえに、ダビデはすぐれた者とされる。

→後の時代、「ダビデの子」は、**メシア**を表す言葉に!!



Ⅲ. **ダビデの応答・賛歌** サムエル記Ⅱ 7章18～29節



オリーブ山の朝焼け

【神の御名・ヤハウエ】 IIサムエル7:18～20

ダビデ王は【主】の前に出て、座して言った。「【神(ヤハウエ)】、主(アドナイ)よ、私は何者でしょうか。私の家はいったい何なののでしょうか。あなたが私をここまで導いてくださったとは。

【神】、主よ。このことがなお、あなたの御目には小さなことでしたのに、あなたはこのしもべの家にも、はるか先のことまで告げてくださいました。【神】、主よ、これが人に対するみおしえなののでしょうか。

ダビデはこの上、何を加えて、あなたに申し上げることが出来るでしょうか。【神】である主よ、あなたはこのしもべをよくご存じです。



【ダビデの賛歌】 II サムエル7:21～22

あなたは、ご自分のみことばのゆえに、そしてみこころのままに、この大いなることのすべてを行い、あなたのしもべに知らせてくださいました。

それゆえ、申し上げます。【神】、主よ、あなたは大いなる方です。まことに、私たちが耳にするすべてにおいて、あなたのような方はほかになく、あなたのほかに神はいません。



シナイ山

【神の民イスラエル】 Ⅱ サムエル7:23～24

また、地上のどの国民が**あなたの民イスラエル**のようでしょうか。御使いたちが行って、その民を御民として贖い、御名を置き、大いなる恐るべきことをあなたの国のために、あなたの民の前で彼らのために行われました。あなたは、彼らをご自分のためにエジプトから、異邦の民とその神々から贖い出されたのです。

そして、**あなたの民イスラエル**を、ご自分のために、とこしえまでもあなたの民として立てられました。【主】よ、あなたは彼らの神となりました。



【神の願いを願うダビデ】 II サムエル7:25～27

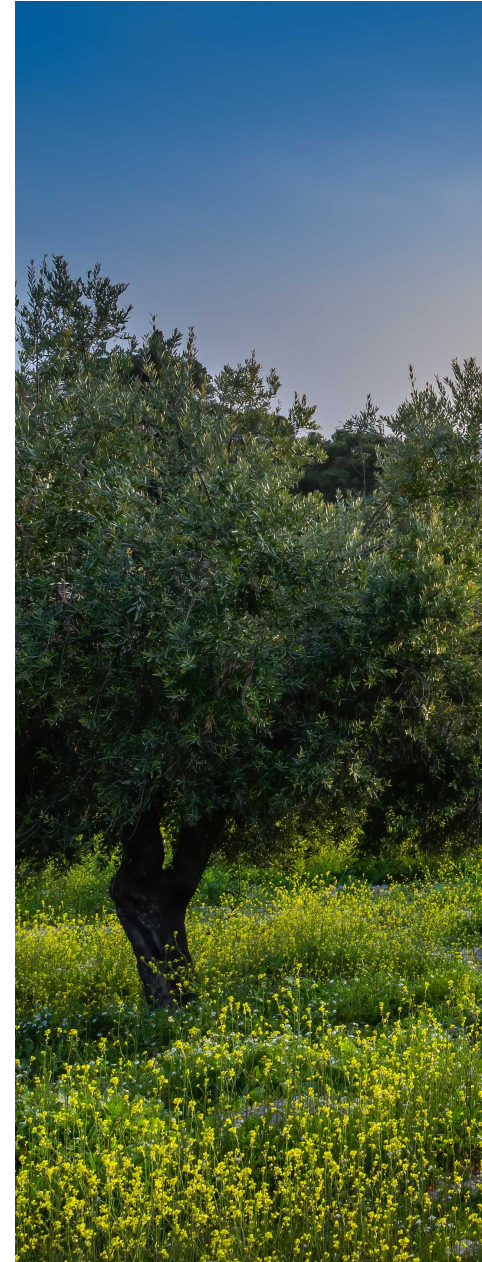
今、神である【主】よ。あなたが、このしもべとその家についてお語りになったことば*を、とこしえまでも保ち、お語りになったとおりに*行ってください。

こうして、あなたの**御名***がとこしえまでも大いなるものとなり、『万軍の【主】はイスラエルを治める神』と言われますように。あなたのしもべダビデの家が御前に堅く立ちますように。

■ 神の契約の内容をそのまま願いとして返すダビデ。

➡ *最高の祈りとは、**神の願い**を願うこと。

*最高の賛歌とは、**神の御名**を讃えること。



【主の約束に支えられて】 II サムエル7:27~28

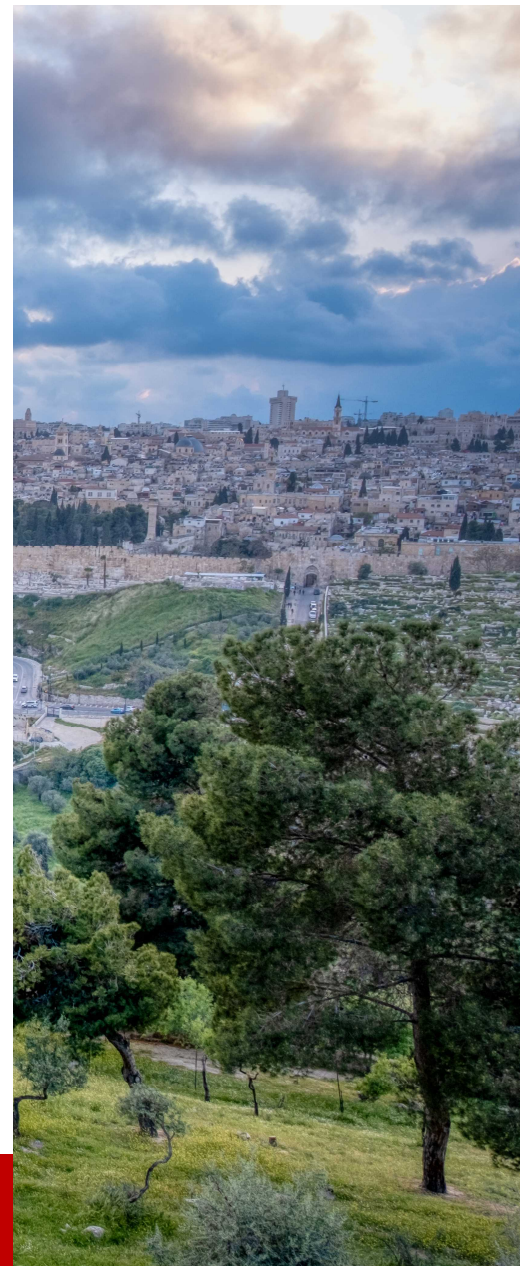
イスラエルの神、万軍の【主】よ。あなたはこのしもべの耳を開き、『わたしがあなたのために一つの家を建てる』と言われました。それゆえ、このしもべは、この祈りをあなたに**祈る**勇気を得た*のです。

今、【神】、主よ、あなたこそ神です。あなたのおことばは、まことです。あなたはこのしもべに、この良いことを約束してくださいました。

*神に**祈る**ことができるのは、神の約束のゆえ。

➔私たちが主に祈れるのは、ゆるされているから!!

罪ゆるされた者の最大の特権の行使が、祈り



【主が語られた】 II サムエル7:29

今、どうか、あなたのしもべの家を祝福して、御前にとこしえに続くようにしてください。

【神】である主よ、**あなたがお語りになったから**です。あなたの祝福によって、あなたのしもべの家がとこしえに祝福されますように。」

■主(ヤハウエ)は、**ノア**に語り(創8:15)、
アブラハムに語り(創12:4)、
モーセに語り(出20:1)、
そして、**ダビデ**に語られた。

主が語られたゆえに、私たちは祈り、願う



聖書朗読 詩篇89章1～37節

イスラエルの国家的危機での
ダビデ契約に基づく祈り
何度もダビデ契約が確認される

神のダビデへの約束のゆえ
懲らしめを受けても
イスラエルは見捨てられず

来るべきメシアによって
永遠の王国、永遠の王座が
建てられる時が必ず来る

詩篇89:1

私は【主】の恵みをとこしえに歌います。あなたの真実を代々限りなく私の口で知らせます。

89:2 私は言います。「御恵みはとこしえに打ち立てられあなたはその真実を天に堅く立てておられます。」

89:3 「わたしはわたしの選んだ者と契約を結びわたしのしもべダビデに誓う。

89:4 わたしはあなたの裔をとこしえまでも堅く立てあなたの王座を代々限りなく打ち立てる。」 セラ

詩篇

89:5 【主】よ天はあなたの奇しいみわざをほめたたえます。まことにあなたの真実を聖なる者の集いで。

89:6 いったい雲の上ではだれが【主】と並び得るでしょう。力ある者の子らの中でだれが【主】に似ているでしょう。

89:7 主は聖なる者の会合で大いに恐れられる神。主を囲むすべての者の上におられる恐るべき方。

89:8 万軍の神【主】よ。だれがあなたのように力があるでしょう。
【主】よ。あなたの真実はあなたを取り囲んでいます。

89:9 あなたは海の高まりを治めておられます。波が逆巻くときあなたはそれを鎮められます。

89:10 ラハブを打ち砕いて殺された者のようにしあなたの敵を力ある御腕で散らされました。

詩篇

89:11 天はあなたのもの地もあなたのもの。世界とそこに満ちているものはあなたが基を据えられました。

89:12 北と南あなたがこれらを創造されました。タボルとヘルモンは御名を高らかに歌います。

89:13 あなたには力ある腕があります。御手は強く右の手は高く上げられています。

89:14 義と公正はあなたの王座の基。恵みとまことが御前を進みます。

詩篇

89:15 幸いなことよ喜びの叫びを知る民は。【主】よ彼らはあなたの御顔の光の中を歩みます。

89:16 彼らはあなたの御名をいつも喜びあなたの義によって高く上げられます。

89:17 あなたが彼らの力の輝きでありあなたのご恩寵によって私たちの角を高く上げられるからです。

89:18 私たちの盾は【主】のもの私たちの王はイスラエルの聖なる方のもの。

詩篇

89:19 あなたはかつて幻を通してあなたにある敬虔な者たちに告げられました。「わたしは一人の勇士に助けを与え民の中から一人の若者を高く上げた。

89:20 わたしはわたしのしもべダビデを見出しわたしの聖なる油で油を注いだ。

89:21 わたしの手は彼とともにあって揺るがずわたしの腕も彼を強くする。

89:22 敵が彼に害を加えることはなく不正な者も彼を苦しめることはない。

詩篇

89:23 わたしは彼の前で彼の敵を打ち砕き彼を憎む者を打ち破る。

89:24 わたしの真実とわたしの恵みは彼とともにありわたしの名によって彼の角は高く上げられる。

89:25 わたしは彼の手を海の上に彼の右の手を川の上に置く。

89:26 彼はわたしを呼ぶ。『あなたはわが父わが神わが救いの岩』と。

詩篇

89:27 わたしもまた彼をわたしの長子地の王たちのうちの最も高い者とする。

89:28 わたしの恵みを彼のために永遠に保つ。わたしの契約は彼にとって確かなものである。

89:29 わたしは彼の子孫をいつまでも彼の王座を天の日数のように続かせる。

89:30 もしその子孫がわたしのおしえを捨てわたしの定めのうちを歩まないなら

89:31 またもし彼らがわたしのおきてを破りわたしの命令を守らないなら

89:32 わたしは杖をもって彼らの背きをむちをもって彼らの咎を罰する。

詩篇

89:33 しかしわたしは彼から恵みをもぎ取らずわたしの真実を偽らない。

89:34 わたしはわたしの契約を汚さない。唇から出たことをわたしは変えない。

89:35 わたしはかつてわが聖によって誓った。わたしは決してダビデに偽りを言わないと。

89:36 彼の子孫はとこしえまでも続く。その王座は太陽のようにわたしの前にあり

89:37 月のようにとこしえに堅く立つ。その子孫は雲の上の確かな証人である。」セラ



IV. まとめと適用 永遠の王イエスの約束を確認しよう

オリーブ山に昇る朝日

【アブラハム契約とは？】

■ 聖書全体を貫く、大原則

神の世界回復と人類救済計画の柱

【アブラハム契約の三つの約束】

① 子孫の約束 → ダビデ契約に発展

② 土地の約束

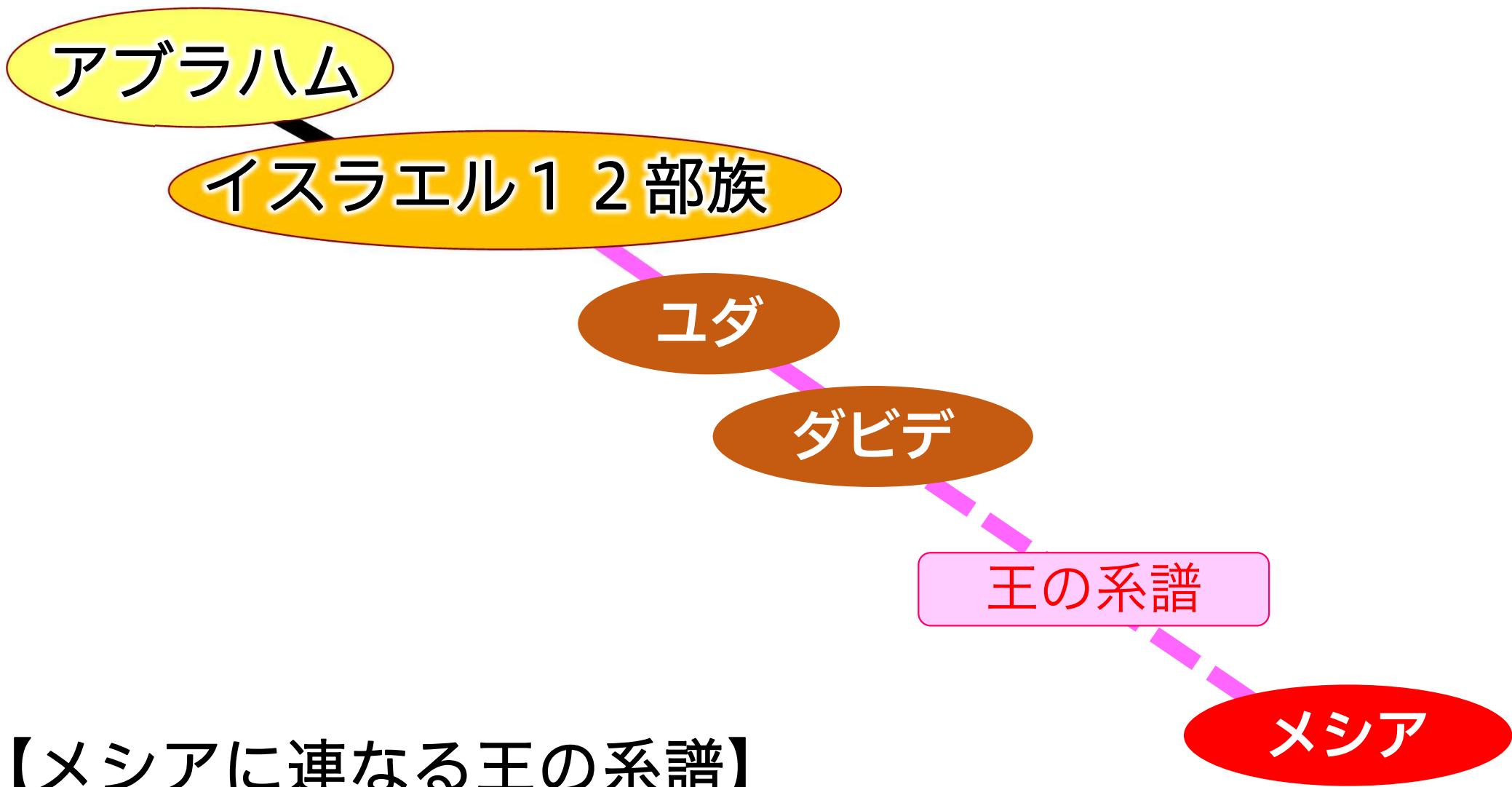
③ 祝福(地上の諸民族の祝福)の約束



【ダビデ契約とは？】

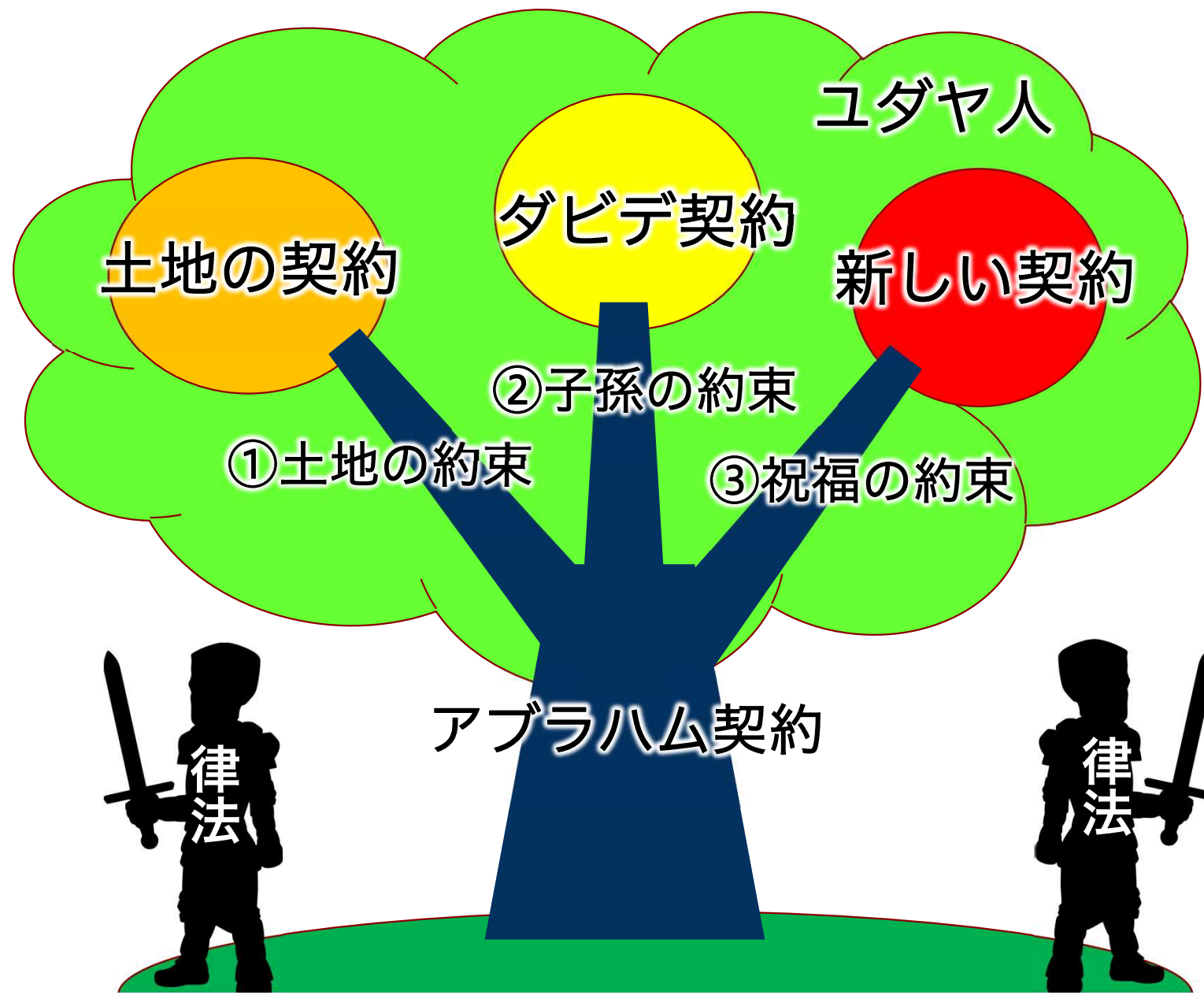
- エブス人を討ち、エルサレムを都としたダビデ王が、契約の箱をエルサレムに運び入れた後、神が**一方に約束***されたこと。
→**無条件契約***
- アブラハム契約の「**子孫の約束**」の発展版。
- ユダ族のダビデ王の家系から**メシア**が誕生することが明らかになった。





【メシアに連なる王の系譜】

律法の時代

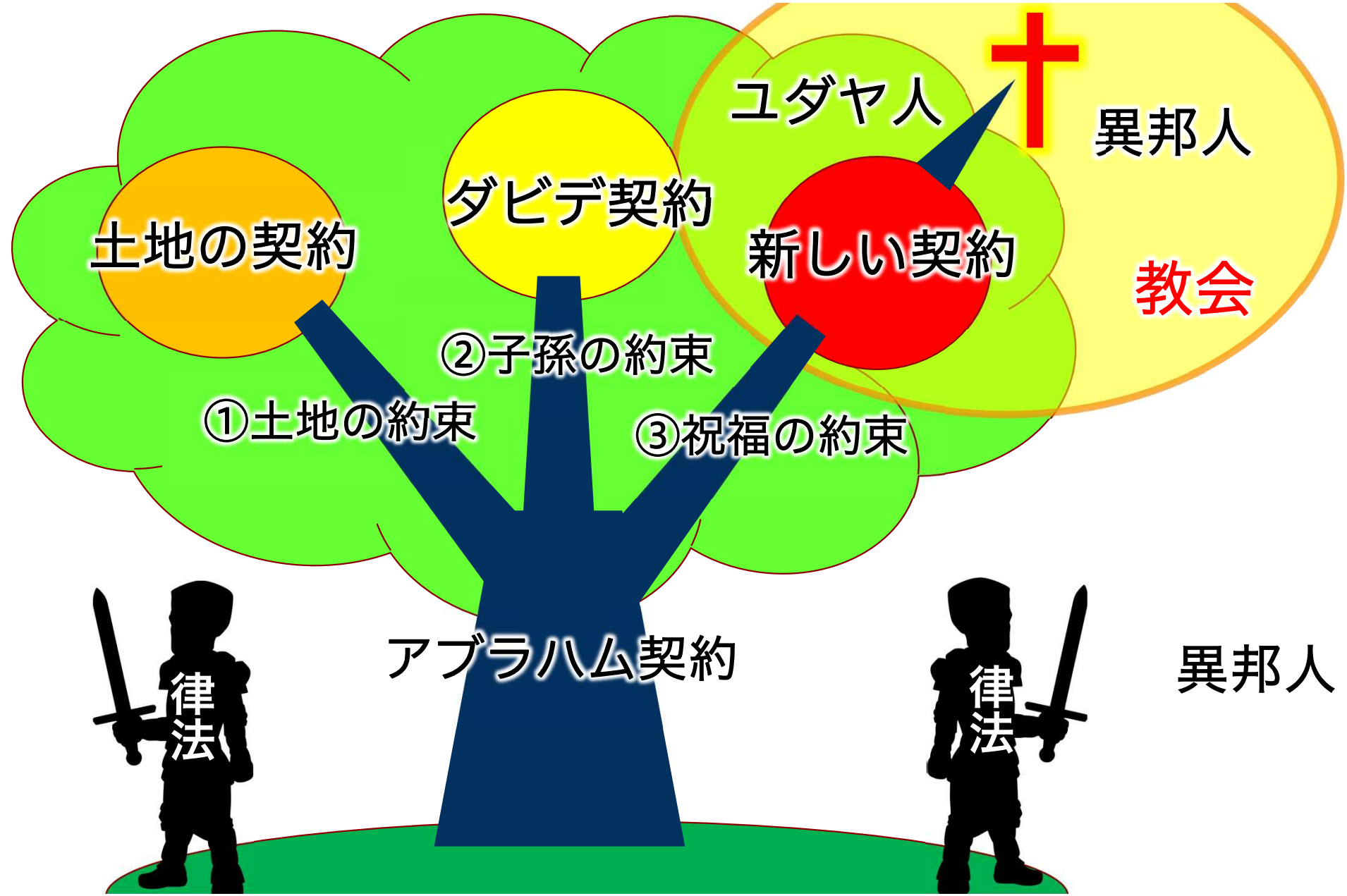


異邦人



アブラハム契約を
守るのが律法

教会時代の今



土地の契約

ダビデ契約

ユダヤ人



異邦人

新しい契約

教会

②子孫の約束

①土地の約束

③祝福の約束

アブラハム契約

異邦人

律法

律法

異邦人

【ダビデ契約】

- 並行記事があり、二カ所に記述。
→ それぞれ**焦点**が違う。

① サムエルⅡ 7:11～16
→ **ソロモン**に焦点

② 歴代誌Ⅰ 17:10～15
→ **メシア**に焦点



【①世継ぎソロモンとダビデの子孫】 サムエルⅡ 7:11～16

『【主】はあなたのために一つの家を造る。』

7:12 あなたの日数が満ち、あなたがあなたの先祖たちとともに眠るとき、わたしは、**あなたの身から出る世継ぎ**の子を、あなたのあとに起こし、彼の王国を確立させる。

7:13 彼はわたしの名のために一つの家を建て、わたしはその王国の王座をとこしえまでも堅く立てる。

7:14 わたしは彼にとって父となり、彼はわたしにとって子となる。

もし彼が罪を犯すときは、わたしは人の杖、 人の子のむちをもって彼を懲らしめる。

7:15 しかし、わたしは、あなたの前からサウルを取り除いて、わたしの恵みをサウルから取り去ったが、わたしの恵みを そのように、彼から取り去ることはない。

7:16 あなたの家とあなたの王国とは、わたしの前にとこしえまでも続き、あなたの王座はとこしえまでも堅く立つ。」



ソロモンのこと

ソロモンは罪を犯し懲らしめられる

【②ダビデの子孫・メシア】 歴代誌Ⅰ 17:10～15

17:10 『【主】があなたのために一つの家を建てる。』

17:11 あなたの日数が満ち、あなたがあなたの先祖たちのもとに行くようになるなら、わたしは、あなたの息子(たち)の中から、あなたの世継ぎの子を、あなたのあとに起こし、**彼**の王国を確立させる。

17:12 **彼**はわたしのために一つの家を建て、わたしはその王座をとこしえまでも堅く立てる。

17:13 わたしは**彼**にとって父となり、**彼**はわたしにとって子となる。わたしはわたしの恵みをあなたの先にいた者から取り去ったが、わたしの恵みをそのように、彼から取り去ることはない。

17:14 わたしは、**彼**をわたしの家とわたしの王国の中に、とこしえまでも立たせる。

彼の王座は、とこしえまでも堅く立つ。」



こらしめがない

永遠のメシアの王国

【ダビデ契約を記した二カ所の違い】

■サムエル記Ⅱ 7:11～16

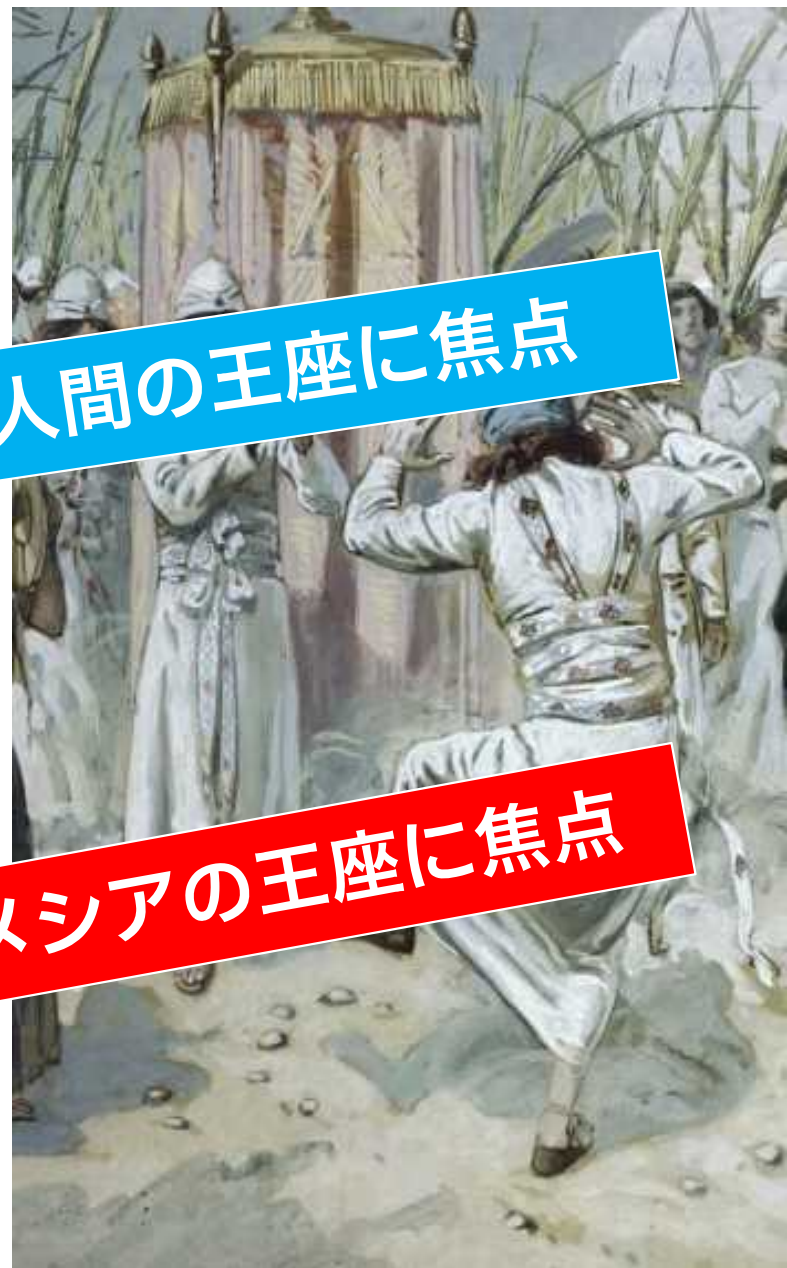
- ★跡継ぎ**ソロモン**について(7:12)
- ★ソロモンの罪と懲らしめ(7:14)

■歴代誌Ⅰ 17:10～15

- ★懲らしめについての記述がない。
- ★永遠の王座に就く**メシア**(17:14)

人間の王座に焦点

メシアの王座に焦点



【ダビデ契約の特徴】

- ①神が、ダビデを通してイスラエルと結んだ契約。
- ②神が一方的に結ばれた、**無条件契約**。
- ③ダビデの息子が王座を確立し、神殿を建設する。
- ④息子(ソロモン)は罪を犯すが、王座からは退けられない。
- ⑤メシアは、**「ダビデの家系」**から出る。
- ⑥ダビデの王座は、永遠に続く。
- ⑦究極的に**永遠の王座**を立てるのは、**メシア**である、**イエス・キリスト**。
⇒神の国「千年王国」において実現する。



【ダビデに与えられた恵みとは？】

- ダビデの系譜から、永遠の王家、王国、王座が建てられる。
- 子孫が罪を犯し、懲らしめられても、この約束は破られない。
一方的な神の恵みの約束を受けて、ダビデは神に祈る勇気を得た。
- 聖い神の前に立ち、**神の怒りに**耐え得る人は、一人もいない。
罪ある人は誰も、個人的に神に語りかけることなどできない。
- 聖書の恵みは、**神の一方的な約束に基づく恵み**。
恵みを受けて初めて、人は神に祈ることをゆるされる。

【神の恵みを受けて主に祈ろう】

■ 史上最大の神の恵み、それが、主イエスの十字架の贖いと復活。

「主イエス・キリストは、私の罪の身代わりのため十字架にかけられ、死んで葬られ、死を打ち破って復活された。」

この**福音**を信じた人は、神の一方的な恵みにあずかっている。

■ 福音を信じたあなたの罪は、過去も現在も将来も**すべて赦された**。
神の目に**きよい者**だから、あなたは神に祈りをささげられる。

「神、【主】よ、あなたは私をすぐれた者として見てくださいます」

➡ダビデのように、勇気と平安をもって、主に祈りをささげよう。

【約束に基づく恵みは、決して失われることはない】

- イスラエルは、**神の約束**のゆえに、決して見捨てられることはない。
クリスチャンも、**福音を信じた**ゆえに、見捨てられることはない。
- この後ダビデは、律法では死罪にあたる大罪を犯したが、悔い改めてゆるされた。懲らしめられても、見捨てられなかった。
➡それもすべて、**神の約束の恵み**によるもの。
- クリスチャンが罪を犯せば、蒔いた種の刈り取りはある。
それでも**救いが失われることはない**。主を信頼して祈り続けよう。

【主の約束があるから、私たちは変わっていい】

■ 救いが失われることがあるというのなら、私たちは恐ろしくて、神の前に祈ることなど、誰もできるわけがない。

■ 罪ゆるされたという大前提があるから、私たちは変わっていい。目を背けたい自分の罪の現実に、それでも向き合うことができる。

■ 己に向き合えば、罪に対する無力さを思い知らされることだろう。その罪はただ、主の前に告白して、自分自身をささげればいい。

主が赦し、あなたを癒やされる。ただ主イエスの贖いのゆえに。

【ローマ人への手紙8：30～33】

8:30 神は、あらかじめ定めた人たちをさらに召し、召した人たちをさらに義と認め、義と認めた人たちにはさらに栄光をお与えになりました。

8:31 では、これらのことについて、どのように言えるでしょうか。
神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵対できるでしょうか。

8:32 私たちすべてのために、ご自分の御子さえも惜しむことなく死に渡された神が、どうして、御子とともにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがあるでしょうか。

8:33 だれが、神に選ばれた者たちを訴えるのですか。神が義と認めてくださるのです。

8:34 だれが、私たちを罪ありとするのですか。

死んでくださった方、いや、よみがえられた方である
キリスト・イエスが、神の右の座に着き、しかも私たちのため
に、とりなしていてくださるのです。

8:35 だれが、私たちをキリストの愛から引き離すのですか

苦難ですか、苦悩ですか、迫害ですか、飢えですか、裸ですか、
危険ですか、剣ですか。

8:36 こう書かれています。「あなたのために、私たちは休み

なく殺され、屠られる羊と見なされています。」

8:37 しかし、これらすべてにおいても、私たちが愛して下さった方によって、私たちは圧倒的な勝利者です。

8:38 私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いたちも、支配者たちも、今あるものも、後に来るものも、力あるものも、

8:39 高いところにあるものも、深いところにあるものも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちが引き離すことはできません。

「天のお父さま。わたしは、み子イエス・キリストが、
①わたしの罪(つみ)を贖(あがなう)うために十字架で死に、
②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、
③三日目に復活(ふっかつ)したことを信じます。

この福音(ふくいん)は、主の永遠(えいえん)の約束(やくそく)に
基(もと)づく恵(めぐ)みです。

私に与(あた)えられた救(すく)いは、

何者(なにもの)も 奪(うば)去(さ)ることはできません。

主の約束の恵みの確(たし)かさを、

身(み)をもって 味(あじ)わい 知(し)らせてください。

平安(へいあん)の内に、福音宣教(ふくいんせんきょう)の

日々の使命(しめい)に遣(つか)わしてください。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」